

第 回武藏野市における地上部街路に
関する話し合いの会提出資料 2010.10.

東京都整備局のモデル道路 第3回話し合いの会資料III-6調査結果

武藏野市における地上部街路に關

する話し合いの会

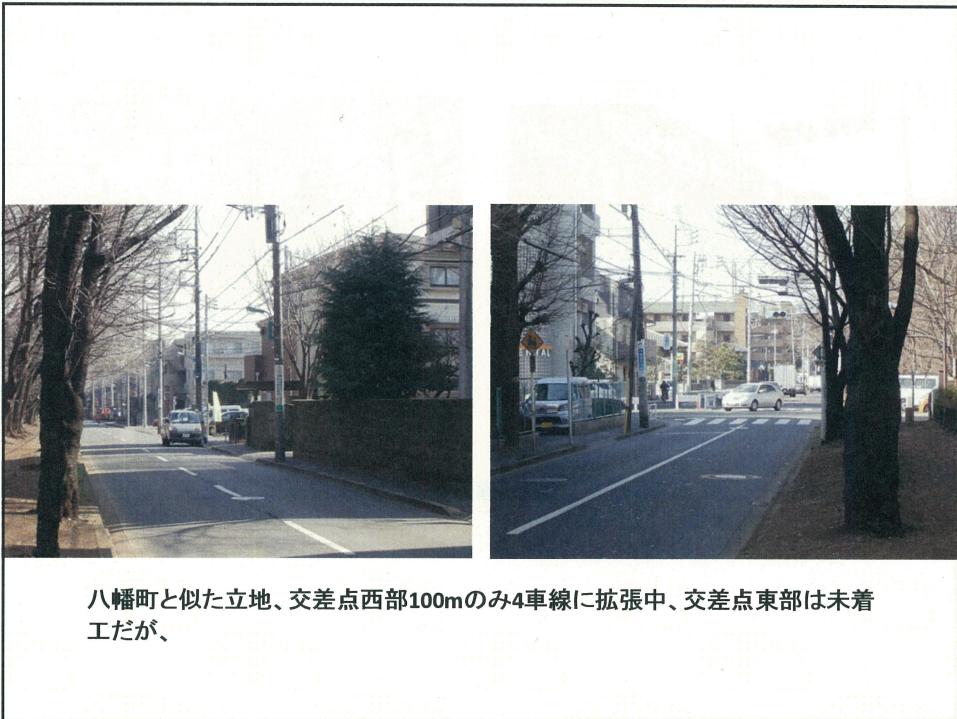
構成員 古谷 圭一

武藏野市八幡町千川上水付近



昭文堂東京区分地図武藏野市、2001年版より 地図使用承認©昭著第10E044号





世田谷区甲州街道旧道給田交差点



昭文堂、「東京区分地図」、2001年版、世田谷区より作成

地図使用承認©昭著第10E044号





西高島平付近



都市計画により出来た住宅街。道路予定地は、住民の原っぱであった。3重の道路で、騒音、大気質は極めて悪い。→地点の横断路には、住民の自動車通行の禁止の掲示がある。
6車線、4車線、4車線、両側地上部1車線側道

昭文堂、「東京区分地図」、2001年版、板橋区より作成 地図使用承認©昭著第10E044号



結論

- 「外環の地上部の街路について」(平成20年3月)p.2のポンチ絵は、これまでの実際よりも美化されて描かれている。都整備局の第3回話し合い会資料9で示された街路は以下の点で武藏野市に関する限りで異なる。
 - すべての地点が既存街路の拡幅を基本としたもので、既存住宅街に後から計画線を引いたケースは示されない。
 - 計画線(中央線-善福寺)の昭和18年時点では、住宅118棟、計画予定線上の3/4は住宅地であった。(1万分の1地図、吉祥寺東部、大日本帝国陸地測量部、昭和18年12月空中写真測図、国会図書館所蔵) 武藏野市該当地域は昭和30年末にはほとんど住宅地化され、本計画はその後に住民に知らされないまま決定された。
 - 都市計画と同時に道路計画が出来、その後に住宅が出来た西高島平以外は、すべて街路の統一性、歴史、緑、静謐さは失われている。
 - 提案されている公園化、公共交通(バス)道路となったケースは示されていない。(恐らくは、存在しない。)
 - 外環本線も、将来無料化すれば、幹線道路の一つとなる。
 - 都の目標は、幹線地上街路(その例は、吉祥寺通り、保谷-三鷹-調布線西荻窪通りなど)と思われる。それならば、これらの整備を先に行うべきである。